

安全作業手順書【剝落防止対策工[②ネット設置]

見積り基準をした危険性の評価			
重大性(B)	○ 軽微	△ 重大	× 極めて重大
可能性(A)	(不休と休業3日以内)	(休業4日以上)	(死亡・障害が残る)
○ ほとんど起こらない (5年に1回程度)	○○ (極めて小さい)	○△ (かなり小さい)	○× (中程度)
△ たまに起こる (1年に1回程度)	△○ (かなり小さい)	△△ (中程度)	△× (かなり大きい)
× かなり起こる (6ヶ月に1回程度)	×○ (中程度)	×△ (かなり大きい)	×× (極めて重大)

危険性又は、有害性の評価と危険度の判定基準例			
危険性の見積り	危険性の評価	危険度	判定
××	極めて重大	5	即座に対策が必要
×△、△×	かなり大きい	4	根本的対策が必要
×○、△△、○×	中程度	3	何らかの対策が必要
△○、○△	かなり小さい	2	現時点では不要なし (様子を見る)
○○	極めて小さい	1	対策の必要なし

作成日・ 改正日	2025/4/1 (前回改正：2024/4/1)	現場名	東名高速道路(豊田IC～春日井IC) 名古屋第二環状自動車道 (名古屋IC～飛島北IC,有松IC～上社JCT)
機器工具	高所作業車、小型移動式クレーン、脚立、ニッパ、はさみ、清掃用具一式	保護具	ヘルメット、安全チョッキ、安全くつ、 切創作業用手袋、軍手、皮手袋

作業区分	作業手順・作業内容	急所	危険ポイント			リスクの見積り			安全対策(危険度2以下へ)			リスクの再見積り		
			(～なので～になる)			(A)	(B)	リスク	(私達はどうする)			(A)	(B)	リスク
準備工	作業確認 作業の打合せ(KY)を行なう 作業員の役割(運転手、助手)を決める 作業場所及び車線を確認する 交通規制状況を確認する ケーブル近接協議の内容を確認する 小型移動式クレーン及び高所作業車の点検を行う しらすだーの動作確認及び点検を行う	作業員全員で 免許証・免許区分の確認を運転手・助手の二人で行って 上下、kp等の情報を踏まえ、作業員全員が理解できるように 必ず当日の規制簿を使用して 試掘を伴う場合は協議日を確認して 手順書に則り 朝礼時に作業員全員で毎日動作確認をする	手順を間違えて思わぬケガをする	△	×	4	全員で手順書、KYの内容を周知する	○	○	1				
			免許区分の理解不足で、無免許運転をしよう	○	×	3	乗車時に必ず免許区分明示車両ステッカーを確認する	○	△	2				
			/	/	/	/	/	/	/	/				
			/	/	/	/	/	/	/	/				
			協議承認日以前に作業を行ってしまう	△	×	4	作業日と協議日を照合し、確認を行う	○	○	1				
			小型移動式クレーン及び高所作業車作業手順書に則る											
			電池切れて緊急時、逃げるのが遅れる	△	×	4	毎日動作確認をし、電池が減ったら交換する	○	○	1				
本作業	車両確認	 セーフティーバイブル	25.車両回送手順書に則る											
	作業車両準備													
	作業車両点検													
	出発準備													
	出発													
	規制内進入													
	車両移動停止													
逸走防止														
使用機器等	車両から必要機械を降ろす	①手袋などを着用して ②手・指挟まれに気をつける。声かけ、合図をして	①荷台から飛び降りて怪我をする ②手・指が挟まれて怪我をする	△	△	3	無理な搬出はせず、サイドカバー・タイヤ等安全な足場から車両に正対して昇降する。飛び降りない。	○	△	2				
準備工	車両を据付け、足場の養生を行う	道具・材料の落下に注意して	高所作業車使用時、作業員が落下する	○	×	3	高所作業車使用時は必ず落下防止対策器具を使用する	○	○	1				
ワイヤー設置	主桁吊ビースにシャックルを設置し、支持ワイヤーを取り付ける	道具の落下に十分注意して	上方より道具を落下させる 脚立使用時、バランスを崩して転倒する	△	△	3	落下防止ワイヤーを道具に付けて、上空監視員を付ける また、シート等で養生を行う	○	○	1				
	ワイヤーを十分緊張させて、ワイヤークリップで端部処理を行う	道具や部品・材料の落下に十分注意して	上方より道具や部品・材料を落下させる	△	×	4	不安定な場所は敷板を設置し、脚立を支える人をつける シート等で養生を行い、細かな道具は布袋に入れ運ぶ	○	△	2				
ネット設置	250mm間隔でネットとワイヤーを固定する	インシュロックの向きに注意して	上方より道具や部品・材料を落下させる	△	△	3	ニッパやハサミ等の道具には落下防止ロープを付ける	○	○	1				
	余分なインシュロックを切断する	保護具を着用して	ニッパやはさみ等で怪我をする	△	△	3	手袋等、保護具を着用して作業を行う	○	○	1				
片付け	発生材や道具を片付ける	車線側、他の作業員等十分周囲に注意して	片付け作業やクレーン操作作業が重複し 作業員同士や、クレーンとの接触を起こす	△	△	3	職長は必ず場内全体を監視し、 全体の動きを指示しながら片付けを行う	○	○	1				
	清掃道具で場内清掃を行う 場内状況及び清掃状況を確認する	車線側への飛散に十分気を付けて 使用道具や、検測道具など忘れ物の無いように	掃き掃除やブLOWER使用の際、走行車に気づかず 清掃物が飛散し、接触する	△	△	3	職長は必ず場内全体を監視し、 警笛等を用いて合図をしながら清掃する	○	○	1				
現場離脱	25.車両回送手順書に則る													
帰着・駐車	25.車両回送手順書に則る													
後処理	運転日報・車両使用日報を作成する	責任者への報告・確認も忘れずに	/	/	/	/	/	/	/					
特記事項	1人作業	原則1人作業はしない。やむ終えず1人作業をする場合は現地にてKYを実施し、作業員同士目のつく範囲内で作業を行う。尚且つもの時の連絡体制を事前に構築しておく。												
台車を使用する場合	台車を使い小運搬を行う時は、台車の逸走による車両等への接触に注意すること	台車は自動ストッパー機能付とする	台車から離れた瞬間に台車が逸走し走行車両と接触する	△	△	3	使用しない時は裏向きにし、Gr外側など走行車両から遠い位置に仮置き。強風の場合はウェイトを置く。	○	○	1				